北海道
平和ふしん

発行
北海道平和婦人会
札幌市中央区
北3条西7丁目
道庁別館　2F
電話 011-241-0956
第　4　号
2018年10月16日

戦争と平和を訪ねる東京の旅

～昭和の歴史を追体験しよう～

10月2日（火）～4日（木）

平和婦人会企画・国賠同盟道女性部協力による旅には、男性1名を含む11名が参加。

羽田空港から「平塚らいてう」の会米田佐代子会長が同行。らいてう縁の茅ケ崎、奥村博史と出会った運命の場所、当時東洋一のサナトリウムと言われた「南湖院」「らいてうの碑」を巡り、有形文化財「茅ケ崎館」にて記念講演。84歳とは思えぬお話に圧倒され感動しました。

宿泊は、小林多喜二が逗留して執筆した「離れ」が今もある、厚木市七沢温泉福元館に宿泊。

宿のご厚意で多喜二の大好物「ぼた餅」が夕食に出されました。

二日目は、靖国神社遊就館、「女たちの戦争と平和資料館」「東京大空襲戦災資料センター」を訪問。

米田佐代子さんと「らいてう」の碑の前で

東京大空襲戦災資料センターで

ランチはリーガルロイヤルホテルでナイフとフォークを使いリッチにビュッフェ形式で。

東京大空襲戦災資料センターでは、当時小学二年生だった女の子の壮絶でリアルな被災体験に胸が熱くなりました。

夕食は両国にて、ちゃんこ鍋。美味しかった。ボリューム満点。

三日目は、それぞれフリー。8人で、ホテル近くの「江戸東京博物館」を見学。午後は、電車を乗り継ぎ、「ちひろ美術館」を足早に訪ね、帰路につきました。

らいてう縁の地訪問と米田さんの講演

★米田先生は非常に気さくな方でしかも研究熱心な方でお話に集中して聞くことができました。平塚らいてうを心から愛し尊敬しているかを、私たちにも理解できるようにやさしくお話されていてとても感動しました。らいてういかりの地、茅ケ崎で米田先生から「らいてうさんがご主人の奥村さんと出会い、人生を一段高い所へと引き上げていく過程が」とても私は感動しました。時代背景も手に取るように理解できて、米田先生のお話の世界にとけこんでゆきました。本当にありがとうございました。

★茅ケ崎の南湖院、太陽の郷庭園訪問は、らいてうをとても身近に感じられた新鮮な経験でした。奥村博史についてさらに調査、研究が進むことを楽しみにしています。らいてうが愛した男が一体どんな人間だったのか、これまでの評価と違う面が沢山あるように感じます。

★とてもいいお話でした。もっと聞きたかった。あの若さの源は何なのか？

第65回
北海道平和婦人会総会
◆日時　12月8日（土）
　午後1時30分～4時
◆会場　北海道教育文化会館
　研修室302号
◆記念講演
「高齢者社会と介護保険」
◆講師　木幡秀男氏
（道民医連社保広報部部長）

★奥村博史との出会い、彼から大きく影響を受けたその後のらいてうの生き方。茅ケ崎での生活が理解することが出来、とても良い講演でした。熱弁には感心しました。茅ケ崎に記念碑が有ることにおおいに納得しました。

米田佐代子さんのお話を聞く参加者

靖国神社「遊就館」見学

★何と多くの命が戦争で失われたことか。写真の顔が悲しい。命を無駄にした戦争、責任はだれかと問いたい。

★戦争に勝ったことを訴えるための遊就館の目的が分かった。

★初めて見学しましたが、ビデオをみて経営者側からの言い分ばかりでした。（当然ですが）

★もっと障害者にやさしい施設にしてほしい・（エスカレーター、休憩椅子など）

女たちの戦争と平和資料館（wam）

平和と非暴力の世界をつくるために戦時性暴力と加害を伝える日本初の資料館

★資料をたくさん買い求めてしまいました。ようやく来ることが出来て良かった。過去の歴史に向き合い、今を生きる人間の一人としてずっと自分に問いつづけていきます。

★お話には聞いていました。日本人にも「慰安婦」の方々がいた事を担当者の説明を聞いて本当に驚きました。しかも公文書や元日本兵にも存在が記録され、すべてが国家に管理された性を、生き抜いた女性を自ら管理される事を望んだかのようにしむく事や、個人に責任があるかの様な視線は、絶対にダメです。展示内容は男の私に強く今後も広く声を上げるように訴えかけていました。

東京大空襲戦災資料センター

★こんなに立派なセンターだとは思いませんでした。こうした取り組みの積み重ねが、世界の歴史を変えていくのだと思います。被災者の方のお話は、心に深くくいこんできました。語り部として自分をさらけ出す事を決意されたことに深く感謝します。

★彼女の壮絶な体験をお聞きして、あの大空襲の火の中をよくぞ生きてくださったと涙です。淡々とその時の事をよく記憶していることに驚きです。

★語り部の話がとても良かったです。大変良く記憶されているのに、驚きました。なかなか見学出来ない所を伺えてよかった。

★昔から早乙女勝元氏の書籍をとおして目にしておりましたが、今回は資料センターでの映像と説明があり、戦災資料を直接見て、体験者の説明もあり、日本の首都に何の罪もない住民を無差別に死亡のみでなく、生活すべての地域を焼け野原した戦争は絶対に許しません。決して、戦争の惨禍を風化させないで次の世代に伝えることと、学び合う場として若者に引き継ぎたいと思いました。

福元館の前で

多喜二が逗留した離れ

全体を通しての感想・意見

★江戸東京博物館見応えありました。観る時間がもっとほしいくらい。

★さすが平和婦人会と旅システム青木さんが企画した旅行はすばらしい！ありがとうございます。

★本当に知らない事ばかりで、目からうろこでした、食事は日頃では、口に出来ないものを頂き感動でした。多喜二に近づいた福元館での一夜と「おはぎ」は私の知らない味で、おかみさんの心が私の多喜二にまた近づけてくださいました。皆さまありがとうございました。

★細部にわたる気配りに大満足の旅でした。福元館が保存されていったら嬉しいです。ホテルの昼食も満足でした。

★有意義に電車を乗って東京中動きまわり楽しかった。